

ワーキンググループ⁰ (WG)活動を 成功させる秘訣

2010/11/11

住友電工情報システム (株)

QCD改善推進部 品質改善推進グループ

岩城 善一

目次

1. 外部設計WG立上げの背景
2. 小集団活動の目的
3. WGの主な活動内容
4. WG活動を成功させる秘訣
5. まとめ

住友電工情報システム株式会社概要

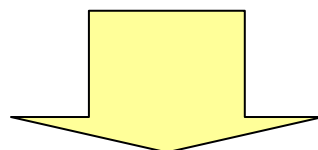
- 設 立: 1998年10月1日
- 資本金: 4.8億円
 - 住友電気工業株式会社: 60%
 - 住友電装株式会社 : 40%
- 従業員: 370名
- 代表取締役社長: 白井 清志
- 事業内容:
 - パッケージソフトウェア (楽々シリーズ) の開発・販売
 - 情報処理システムの開発受託
 - コンピュータ運用業務の受託
 - 情報機器の販売
- URL: <http://www.sei-info.co.jp/>



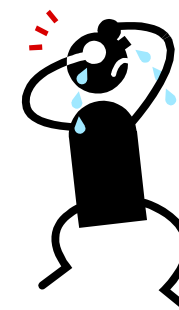
本社 (SEIビル)

1. 外部設計WG立上げの背景

- システム開発時の問題について社内アンケートを実施



- 約52%の開発者が外部設計が課題で改善が必要！
 - システム要件の抽出漏れ
 - 記載内容が悪い
 - ユーザレビューの方法が悪い etc...



1. 外部設計WG立上げの背景

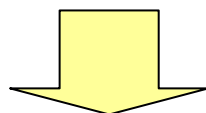
■ 現状の外部設計は・・・

◎：成果物フォーマットは定義されている

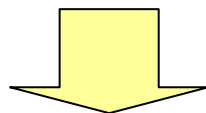
×：設計プロセスは定義されていない

→品質にバラツキがある（熟練者は知識・経験でカバー）

→初心者は何をすれば良いかわからない



**初心者でも、熟練者のノウハウを使った
設計ができるようにしたい**

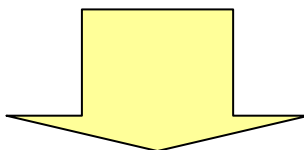


WGを立ち上げよう！

1. 外部設計WG立上げの背景

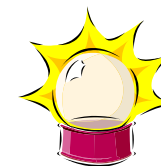
■ 社内WG活動の実状

- 過去5年間のWG活動は開発標準まで発行できず、頓挫してしまうケースが多かった



<目標>

1. 必ず成功するWGの進め方を確立したい！
2. 外部設計の設計プロセスを定義したい！



2. 小集団活動の目的

■ 自己研鑽と相互啓蒙

- 技術者の内発的モチベーション(*1)により、
技術者の興味によって自発的に進める活動

■ 組織への貢献

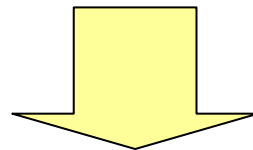
- 人材強化により、組織の業績に貢献
- 業績アップがモチベーション向上につながる

(*1) 2種類のモチベーション

- 外発的モチベーション
これをすれば何か報酬が得られるので、頑張る！
- 内発的モチベーション
何の報酬もないが、その行為自体が楽しい為、一生懸命やる！

3. WGの主な活動内容

問題認識



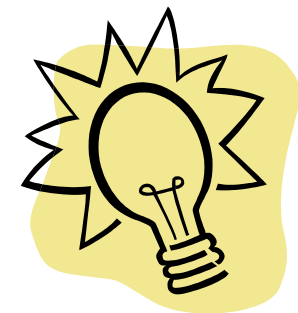
- ① **WGの設立**
- ② **テーマ選定／問題分析**
- ③ **ノウハウの収集・整理**
- ④ **開発標準の発行**
- ⑤ **トレーニング**



4. WG活動を成功させる秘訣

■ WG設立～ノウハウの収集・整理

- － 1. メンバー選定
- － 2. 目標設定
- － 3. スケジュール立案
- － 4. WGの立上げ
- － 5. ノウハウの明文化



4-1. メンバー選定

【ポイント】

- **実践者** : 6名 (別プロジェクト、別組織から選定)
実践の中でノウハウを保有
- **アドバイザー** : 1名 (ソフトウェアエンジニアリングの知識)
無駄な議論を排除し、効率的に運営
- **管理職** : 1名 (必須ではない)
重要な活動である事をPR

4-2. 目標設定

【ポイント】

- やりがいを感じる目標を設定する事

<目標例>

開発標準作成

<やりがい例>

組織への貢献

全開発者への貢献

チームへの貢献

自プロジェクトへの貢献←後輩の活躍

個人の知識欲を満たす

正しい知識を身に付けたい

4-3. スケジュール立案

【ポイント】

- 無理の無い活動
- メリハリのある活動

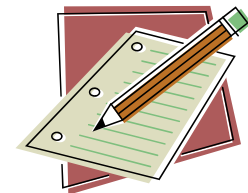
<スケジュール例>

2H／週の活動とする

→ 最終成果物の形で記載し、効率的に運営

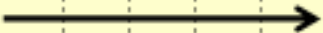
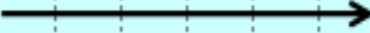
半年毎に開発標準改訂

→ 最初から100点を目指さない “**一歩進めば良い**”



4-3. スケジュール立案

～サンプル～

活動内容	2009年度					2010年度												
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
開発標準作成																		
要件確認・ヒアリングシート																		
設計プロセス定義(共通)																		
設計プロセス定義(レベル4)																		
設計プロセス定義(レベル3)																		
成果物の再整備(レベル4)																		
成果物の再整備(レベル3)																		
ピアレビュー																		
ユーザーレビュー																		
説明会																		
第1回	●																	
第2回(ダイジェスト版)											▲							
開発標準発行																		
第1回					★													
第2回											★							
第3回																	★	

4-4. WGの立上げ

【ポイント】

- チームワークの確立 (信頼、信用、自信)

<例>

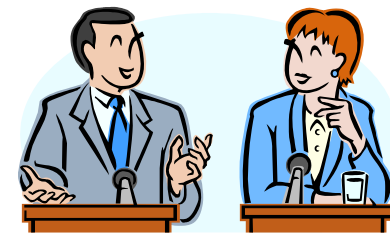
全員に発言の機会を与える

→ 気軽に発言できる雰囲気を作る

人の意見を否定しない

→ 大人しそうな人に自信を与える

“気軽に話せる”



4-5. ノウハウの明文化

【ポイント1】

■ プロセスから検討

○ プロセスから検討

ノウハウはプロセスにより多く含まれている

× 成果物から検討

ToBe (あるべき姿) のイメージから入ってしまうので
具体的な意見があまり出てこない



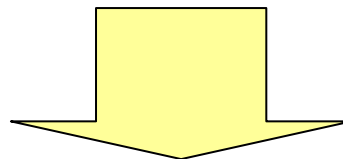
4-5. ノウハウの明文化

【ポイント2】

- 参加者のプロセスの違いを抽出

STEP 1

自身のプロセスの振り返り



STEP 2

記述・整理

**自身のプロセスや、やるべきプロセスを
メモとして記載する。(各自の宿題)**

4-5. ノウハウの明文化

STEP 2 ～宿題イメージ～

[宿題]

各自、設計プロセスを整理する

★新規登録 : Aさん

★変更・一覧変更 : Bさん

★キャンセル : Cさん

類似登録 : Dさん

検索条件入力 : Eさん

一覧・照会 : Aさん

帳票 : Bさん

★印は次回(YY/MM)議論

それ以外は次々回(YY/MM)議論

[新規登録]

画面設計

1. XXXXXXXXXXXXX

2. XXXXXXXXXXXXX

3. XXXXXXXXXXXXX

エラー時の処理

1. XXXXXXXXXXXXX

2. XXXXXXXXXXXXX

3. XXXXXXXXXXXXX

.

.

4-5. ノウハウの明文化

STEP 3

差異のあるプロセスの抽出と目的の明確化



ディスカッション

Aさん：(宿題の説明)

Bさん：私は別の方法で実施しています。

Cさん：私はさらに別の方法で実施しています。

Dさん：Bさんは何故その方法で実施しているんですか？

Bさん：私は〇〇の目的で実施しています

・
・

議論をより効率よくする為のノウハウ

- ・ペンディング事項や課題は常に確認できる場所に配置
- ・他プロセスに関する意見も課題として記載しておく事で貴重な意見を無駄にしない。



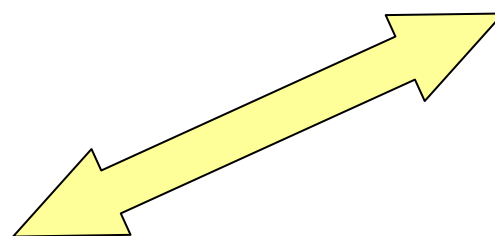
4-5. ノウハウの明文化

議論をより活発にする為のノウハウ

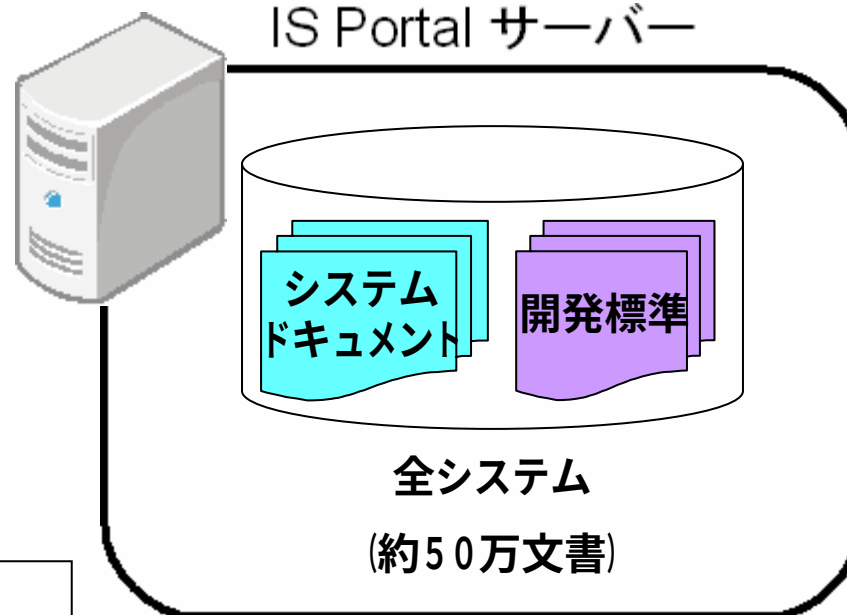
具体的な成果物を会議中に容易に閲覧できると
言葉の意味の違いが解消され、議論が活発になる。



IS Portal イメージ



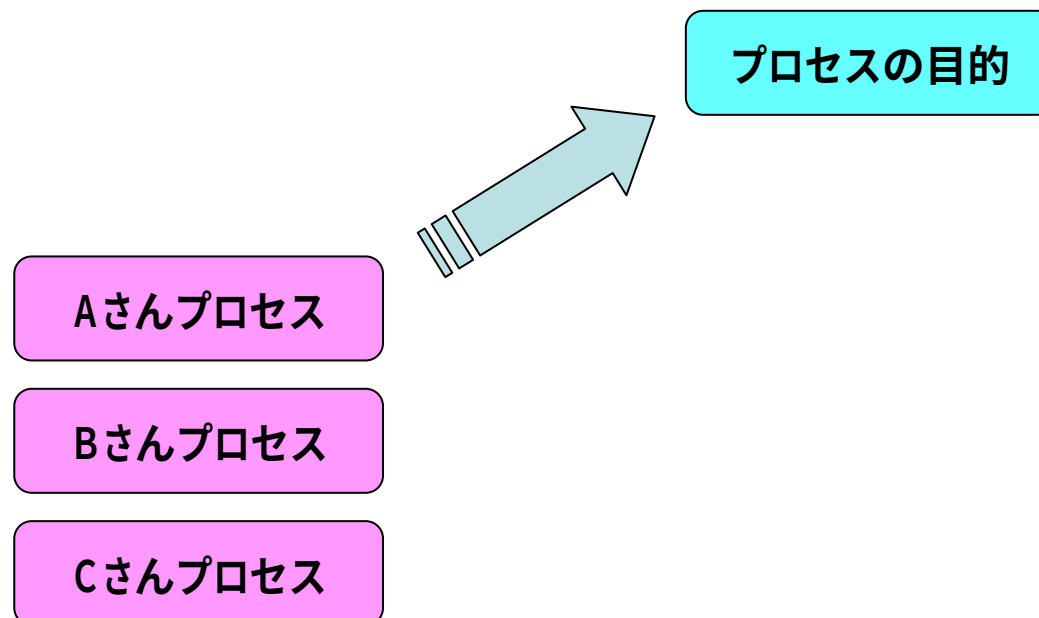
Webブラウザのみで
ドキュメントが参照可能



4-5. ノウハウの明文化

STEP 3

差異のあるプロセスの抽出と目的の明確化



4-5. ノウハウの明文化

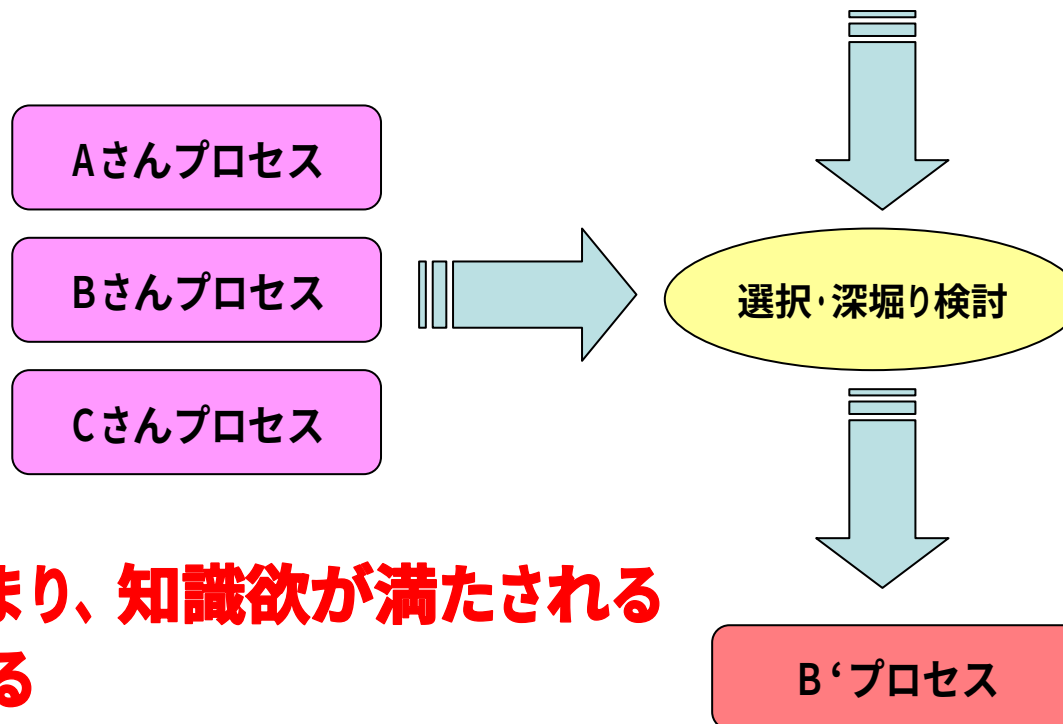
[ポイント3]

- 最適なプロセスを標準に採用

STEP 4

最適なプロセスを選択

プロセスの目的



- ・プロセスの理解が深まり、知識欲が満たされる
- ・後輩への指導ができる

4ー5. ノウハウの明文化 ～まとめ～

■ ノウハウを明文化する手順

【ポイント1】 プロセスから検討

【ポイント2】 参加者のプロセスの違いを抽出

STEP 1

自身のプロセスの振り返り

STEP 2

記述・整理

STEP 3

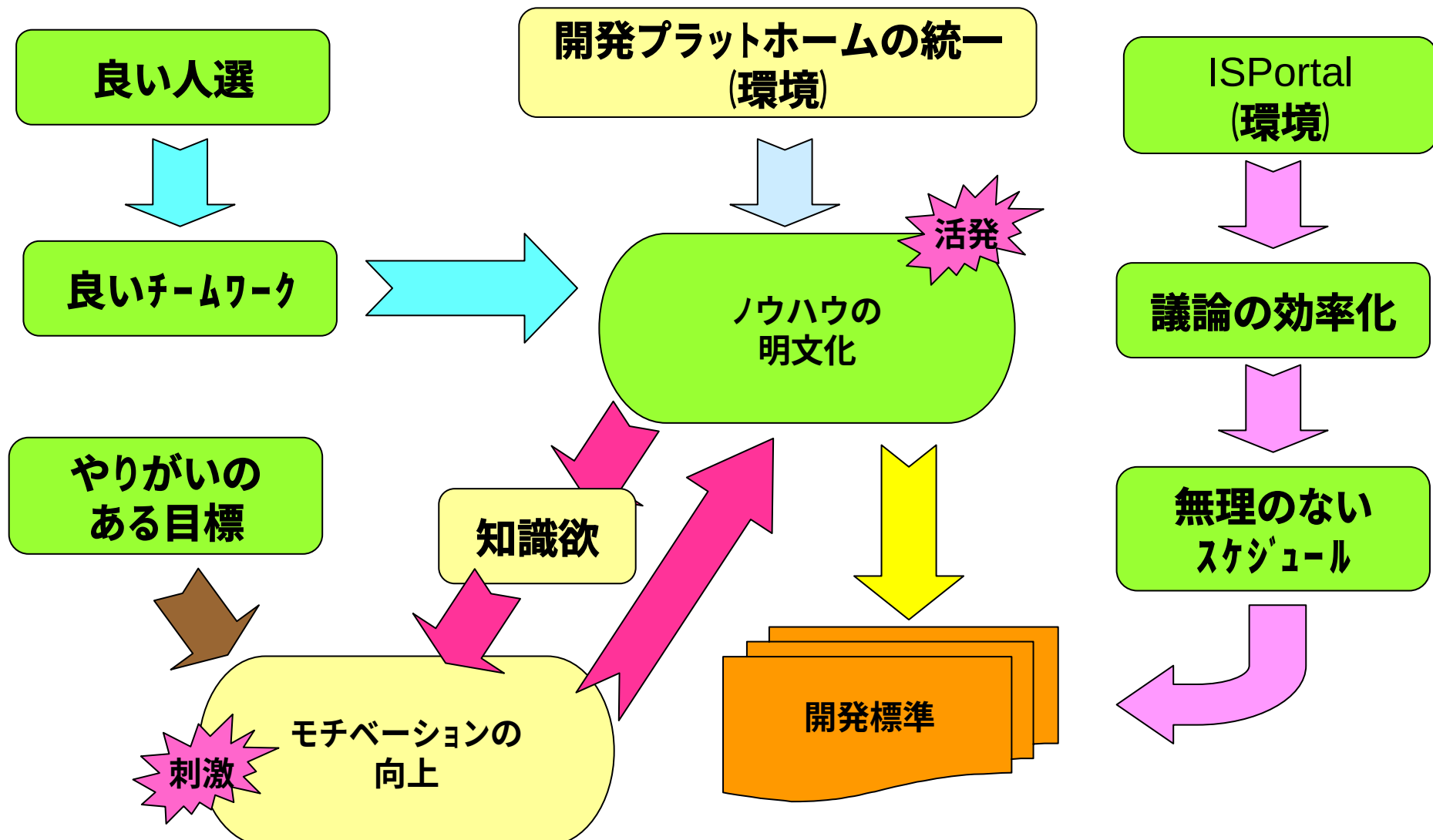
差異のあるプロセスの抽出と目的の明確化

【ポイント3】 最適なプロセスを標準に採用

STEP 4

最適なプロセスを選択

4-6. WG活動を成功させる秘訣 ～まとめ～



(参考資料) サンプル

スクリーンをご覧ください

5. まとめ

■ 成果

- **必ず成功するWG活動の実施要領を策定！**
※WG運営のノウハウの明文化
- **外部設計の開発標準を策定！**
※外部設計のノウハウの明文化

■ 今後の課題

- **必ず成功するWG活動の実施要領を他のWGへ横展開**
- **残りの外部設計開発標準 (レビュープロセス) を策定**

ご清聴ありがとうございました